



発行所
二輪車新聞社
 〒105-0004 東京都港区新橋6-7-1
 川口ビル ☎03(3436)1311
 振替口座 00190-7-38825番
 編集長 行木村玄一
 大阪支社 〒530-0003 大阪市北区堂
 島2-2-23 白雲ビル ☎06(6341)3997
 週刊・毎週金曜日発行
 購読料 1部 300円+税
 1ヵ年 14,000円+税
 www.nirin.co.jp

宅配ライダーが安全運転技術披露

第17回デリバリー業安全運転競技会

警視庁・SDA

東京都内で働く宅配バイク乗務員の安全運転技能向上を狙いとした競技会形式による交通安全教育の催し「第17回デリバリー業安全運転競技会」が、2020年11月25日、警視庁交通部と全日本デリバリー業安全運転協議会(SDA)の主催で、東京都世田谷区の警視庁交通安全教育センターを会場に開催。参加した乗務員たちが日頃の講習会や研修会、業務で培った安全運転技術を披露した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で在宅勤務や会食自粛が増えたことにより、宅配へのニーズは高まり、宅配バイクによる業務は活発になっている。それだけになおさら、乗務員の交通安全ルール順守と安全運転技能向上を図るこの大会が、より一層重要な行事であることがうかがえた。

宅配バイク コロナ禍で活動活発

安全運転 一層重要に

企業イメージアップにも

同競技会は、デリバリー業界の交通安全意識および安全運転技術の向上を目的に2004年から毎年開催されているもので、今回で17回目。主催は警視庁交通部と、デリバリー関係企業の宅配バイク乗務員の交通安全教育を行っている

は11月25日に延期。コロナ禍での自粛生活の増加に伴いデリバリーへの需要が高まってきていることもあり、乗務員の安全運転の意識と技能のより一層の向上を図ろうと、感染拡大防止対策が徹底された上で開催の実現をみたもの。



開会式風景



主催者を代表して開会式であいさつする警視庁交通総務課の功刀管理官(左)SDAの村川理事



そして出場選手には「模範運転者としての心構えと優れた運転技能を身に付けた各社の代表として、この競技大会を通じて、より一層安全運転の基本を見つめ直し、常に自らが模範運転に努めるとともに、同僚の方々に



団体部門優勝のピザラ

さんは優秀な指導者でもあるので、この大会を機会に、お店の看板を背負っているという気持ちで、デリバリー業界全体の安全運転管理体制の向上に努めてほしい」と旨を述べて激励した。

競技は▼法規学科テスト(15問・10分)▼法規走行競技(法令を遵守し、安全かつ円滑に走行

出場選手は、SDAに加入している会員デリバリー企業から推薦を受けたデリバリーバイク乗務員。今回参加した企業は(カッコ内はチーム名)▼ストロベリーコーンズ(ナポリの窯)▼2チーム▼セレクト(セレクト)▼1チーム▼フォーシーズンズ(ピザラ)▼1チーム▼ライドオンエクスペリエンス(銀のさら)▼2チーム▼ワイズテールコーポレーション(サルヴァトールレクオモ)▼2チーム▼5企業・8チーム。全20名の乗務員により競われた。

競技は▼法規学科テスト(15問・10分)▼法規走行競技(法令を遵守し、安全かつ円滑に走行

最後に閉会式が行われ、警視庁交通部交通総務課交通安全教育係の柴崎係長と、SDAの宮下雅光副理事長があいさつ。柴崎係長は大会の講評

◆大会成績(敬称略)▼団体部門①ピザラチーム②銀のさらAチーム③ナポリの窯Aチーム

「我々SDAは、安全安心、心温まる商品をご家庭にお届けするために最も重要なのは、どんな状況でも、コロナ禍でも交通事故撲滅で、いかにして安全運転教育、啓蒙活動をしていくかであり、日々取り組んでいきたい」と選手の方々は、今日の競技大会の経験とスタントマンによる衝撃的な交通事故再現について、各店舗に帰って安全運転の語り部として活躍してほしい」と締めくくった。

閉会式であいさつする警視庁交通安全教育係の柴崎係長(左)SDAの宮下副理事長



ゴールドウィン
 モーターサイクルは
 豊かなバイクライフを
 提案します

goldwin.co.jp/motorcycle/
GOLDWIN
 MOTORCYCLE

バイクパーツのバイオニア
NBS ジャパン
 30年以上の信頼と実績 業者向け会員通販専門サイト

バイク専用 NBS
 Nbsウルトラプレミアム
 4サイクル
 エンジンオイル
 高品質日本製

https://www.11parts.com

交通安全教育を行っている全日本デリバリー業安全運転協議会(SDA)／正会員10社・賛助会員41社、浅野秀則理事長)の2者で、東京都交通安全協会の後援を得て行われている。

この競技会は、毎年夏に行われていたが、20年



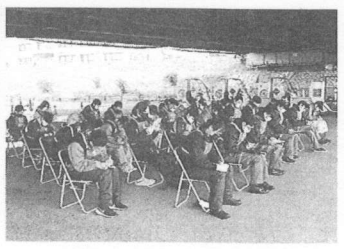
デリバリー関係企業の乗務員代表らが日頃の安全運転技術を競った

みたもの。

競技会に先立ち開会式が行われ、主催者を代表して、警視庁交通部からは交通総務課の功刀正樹、交通安全担当管理官が、SDAからは村川淳一理事がそれぞれあいさつ。

功刀管理官はあいさつの中で20年の交通事故情

勢について触れ、その中で二輪車乗車中の交通事故死亡事故の特徴について、「分離帯などに衝突する単独事故や、直進二輪車に右折対向車が衝突する右直事故が多い」と述べた上で、プロテクター着用とヘルメットの正しい着用の重要性を指摘した。



④法規学科テストと法規走行競技⑤中低速車両感覚走行競技

「コロナ禍が収まりのきらない中で今回、大会を開催させてもらうことになった」と警視庁と東京都安協、東京二輪車安全運転推進委員会への感謝の言葉を述べた上で、「コロナ禍で自宅にこもっている人が多く、デリバリーへのニーズはますます高まっていると思う。皆

とともに、同僚の方々にも安全運転を呼びかけてほしい」。さらに共催者のSDAに対しては、「各会員会社での従業員



団体部門優勝のピザラーチーム

し、安全かつ円滑に走行する能力を審査)▼中低速車両感覚走行競技(車両感覚を把握し、車両特性に応じた走行や安全での確に操作する能力を審査)――の3項目を審査。選手らは日頃の業務や講習会、研修会で培った自身の安全運転技能を

三輪バイクで事故再現

安全運転意識高める

デリバリー業安全運転競技会の競技日程終了後には今回、スタントマン

による原付三輪バイクを使ったスケアード・ストリート方式(事故再現)



の交通安全教室が開催された。

会場では、飛び出してきた自転車とバイクとの衝突、飛び出してきたバイクと四輪車との衝突、左折トラックによるバイク巻き込み、直進バイクと右折四輪車との衝突など、衝撃的な様々なシチュエーションの交通事故をリアルに再現。選手らは真剣な眼差しで見入っていた。



FUSHITAN HIAMAMATSU

安全の世界を創

www.kushitan

- ム③ナポリの寮Aチーム
- ▼個人部門①居林哲平(ナポリの寮Aチーム)
- ②岸田修一(ピザラーチーム)
- ③赤塚恭平(ピザラーチーム)
- ④小友俊樹(銀のさくらチーム)
- ⑤松本健太(ピザラーチーム)
- ⑥大目颯真(セルートチーム)

The answer is BDS

1983年の創業以来、私たちは「二輪販売店様の総合サービス会社」を標榜しています。

柏の杜会場 TEL.04-7190-0640

関西会場 TEL.072-271-6141

九州会場 TEL.092-928-8150

BDS BDS COMPANY, INC.

競技終了後に行われたスタントマンによるスケアード・ストリート方式による交通安全教室では、デリバリー用に多く使われる三輪バイクを使った衝撃的な交通事故再現が披露された